
今さらだけど。 / 沖神

琴椿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今さらだけど。 / 沖神

【Nコード】

N1692J

【作者名】

琴椿

【あらすじ】

ずっと前から心の隅にあったもの。

今さらというかなんというか…。

俺はお前が好きみたいです。

（前書き）

今までさんざん沖神でいちゃつかせてたくせに…。

今さらなのは私です、ごめんなさい。

…お前に初めて会ったのは、忘れもしないあの日。

桜の花びらが、まるで雪のようにちらほらと降っている。

そんななか、ひときわ目立つ橙色の髪。

こちらを見つめる青い瞳。

…正直、かわいいと思った。

俺の周りに女は腐るほどいた。

嫌がっても寄ってくるのだ。

…けれど、今まで見てきたどんな女よりかわいいって…思った。

ホントに、最初だけ。

なりゆきでしたたたいてかぶってジャンケンポン大会。

相手は…そいつだった。

かわいい顔に似つかわしくないほど強くって、思わず本気をだしてしまいそうになるくらい。

俺に会って暴言吐いてくる奴なんか、お前くらいだった。

…しまいには殴ってくるし。

かわいいと、少しでも思ってしまった俺がバカみたいだ。

カブトムシ獲りとか、姐さんの許嫁…とかっていう片目の奴とこに行ったときとか…

なんだかんだ言って、協力し合ってた気が…しないでもない。

旦那にベタベタしてるとこ見ると、なんか苛つく。

なんで苛つくかわかんないから、さらに苛つくんだ。

逆に、顔真っ赤にしてケンカ買うところを見ると、すごくうれしくなる。

なぜか肩を並べて帰った道。

無理やり酢昆布買わされたっけ。

お礼は……？ってしつこく聞くと、最初は渋ってても、最終的には真っ赤になって言ってくれる。

…ありがとうって。

その唇から目が離せないでいると、必死に頭を振って否定する。

そうやって、お前はほんと簡単に俺の心をかき乱していつてしまう。

仕事のことでかき乱してて、つい当たってしまうときもある。

そのときの彼女の泣きそうな顔を見るだけで、俺は死にそうだった。

…なあ。

…なあ。

なんでこんなに好きになっちゃったんだろう？？

『サド〜！〜！』

俺を呼ぶお前の高い声も、

『上等じゃあこら！〜！今日こそ息の根止めてやるアル！〜！』

真っ赤になって頬をふくらませるときも、

『〜ッあ…ありがとう…』

たまにしか言わないお礼の言葉も…

「チャイナア」

「何アルか？？」

…好きだ。

想いを初めて口にした、冬のある日。

気づくのが、遅すぎた。

（後書き）

え…

短編だよ？？

長い…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1692j/>

今さらだけど。/沖神

2011年10月6日06時48分発行